

### 913.6 F E

### どんなかんじかなあ

なかやま 5 なつ カ だまごと じゅうごくみんしゃ 中山千夏 ぶん | 和田誠 え | 自由国民社 | 2005年

友だちのまりちゃんは目が見えない。見えないってどんなかんじかなあ……。そこで、ひろくんはしばらく目をつぶってみることに。すると、なんてたくさんいろんな音! 見えないってすごいんだ!

### たまがわ 日本の川



291.3 ムラマ K

昭島の近くを流れる大きな川「たまがわ」。

山の中から流れはじめて海に流れつくまでを、いっしょに たどってみよう。

昭島のことも出てくるよ! なんて書いてあるかな?

### 番ねずみのヤカちゃん



933.7 ウイル お母さんねずみと4ひきの子ねずみがくらしているのは、ドドさん夫婦 (ふうふ) の家のかべのすき間。だけど末っ子ヤカちゃんの声があんまりにも大きいので、とうとうドドさんたちにばれそうに……。みんなつかまっちゃうのかな?

### ドリトル先生アフリカへ行く 100周年記念版



933.7 ロフテ ちょ かねはらみずひと ふじしまけい こ きょうやく たけしょほう ヒュー・ロフティング 著 | 金原瑞人・藤嶋桂子 共訳 | 竹書房 | 2020年

ドリトル先生は、世界でただひとり「動物の言葉が話せる」 お医者さん。ある日、サルたちのあいだでおそろしい病気が 広がっているというアフリカへ、動物たちとともに助けに行く ことに。名シリーズを新しい訳 (ゃく) で読んでみよう!



昭島市民図書館



## シマダ

### カラスのいいぶん 人と生きることをえらんだ鳥

しま だ やす こ ちょ おかもとじゅん どうしんしゃ

嶋田泰子 著 | 岡本順 絵 | 童心社 | 2020年

人の顔を覚え、仲間と会話して、自由時間に遊ぶ。からい ものが苦手で、家の中しかかたづけない……君とにているところ がいっぱい? カラスの印象 (いんしょう) が変わるかも。

本の最後にのっている「カラスの通知表」も必見!

# やま もとしょうぞう

### 海を科学するマシンたち 深海のひみつをさぐれ! しんかい6500

山本省三 作 | 友永たろ 絵 | くもん出版 | 2023年

光のとどかない深海には、どんな生物がいる? 地形はどう なっている?

人を乗せて6500メートルの深海まで行ける「しんかい 6500 には、深海のなぞをときあかすための工夫がいっぱい!



5583

ヤマモ

## オオニ

### お蚕さんから糸と綿と

おおにしのぶ お ちょ 大西暢夫 著 | アリス館 | 2020年

生糸 (きいと) や真綿 (まゎた) は「かいこ」の命をいただいている のを知っている? 大切に大切に育てられた「おかいこさん」。

かいこを育て、まゆをとる仕事の様子をたくさんの写真と いっしょに見ていこう!

つながる



ナガク

### 長倉洋海 著 | アリス館 | 2019年

世界には、しっかりとした根をもって生きている人たちが いる。まわりの人とつながる根。かんたんにはかれない、生きて いくための根。ぼくたちは、根をどうやって太く強くのばして いけばよいのだろう。



# アライ

### なかまカナ?

新井爽月 作 | 浅沼とおる 絵 | フレーベル館 | 2023年

上から読んでも下から読んでも同じ文章「回文 (かいぶん)」を 知っている? 人見知りなりくのクラスに、アメリカから転校生 のトムがやってきた! 回文大好き、いつもまっすぐなトムと 過ごすうち、りくは少しずつ変わっていく……カナ?



## 913.6 スギヤ

### ミルキー杉山の もしかしたら名探偵 あなたも名探偵シリーズ

なかがわだいすけ かいせいしゃ 杉山亮 作 | 中川大輔 絵 | 偕成社 | 2009年

ミルキー杉山のなぞときに、君も参加してみよう。「かいとう へん」をすぐに読んじゃもったいない。よ~く気をつけて読めば、 きっと犯人(はんにん)が見つかるはず! シリーズでおすすめ。



## 913.6 トミヤ

## オバケ屋敷にお引つ越し スギナ屋敷のオバケさん

とみやすようこ

富安陽子 作 | たしろちさと 絵 | ひさかたチャイルド | 2016年

料理研究家のオバケさん。一目で気に入って引っ越した家から いきなり追い出されそうに。その家は、なんと本物の「オバケ 屋敷!! オバケなんだからちょうどいいって? いえいえ。 オバケさんはオバケじゃなくて人間なんだ!



# フエイ

### ブックキャット ネコのないしょの仕事!

ポリー・フェイバー 作 | クララ・ヴリアミー 絵 | 長友恵子 訳 | 徳間書店 | 2023年

第二次世界大戦中のロンドンにくらす、野良ネコのモーガン。 ある出版社 (しゅっぱんしゃ) に住みつくと、「ブックキャット」と して働きはじめ……。

イギリスに本当にいた黒ネコが主人公のお話。